

現在進行形の県議会広報紙【年4回発行】

# わかやま 県議会 だより

No.7  
平成22年  
[2010]  
2月7日発行

## 12月定例会号

樹氷  
(高野龍神スカイライン)

主な記事

2~3面

平成21年12月定例会概要

4面

議会活動／常任委員会の県内調査報告／

県議会を見る・聞く

### 議員定数を46人から42人へ

和歌山市、田辺市、新宮市、伊都郡、有田郡の各選挙区は1人減、橋本市選挙区は1人増

次の県議会議員選挙(平成23年4月予定)における選挙区別議員定数 【総定数42人 14選挙区】



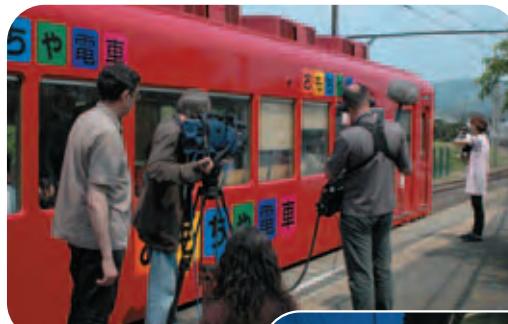
#### 検討経過

平成19年6月に「議員定数等検討特別委員会」を設置し、次期選挙の1年前までに結論を出す予定で、延べ12回の委員会を開催し、検討・協議を進めてきました。

12月定例会では、特別委員会の結論に基づいて、議員の定数及び各選挙区の定数を見直すための条例改正案を提案し、賛成多数で上図のとおり決定されました。

#### 町田 岄 委員長コメント

今回の改正では、同規模県の平均定数削減率に匹敵する4人の定数削減を行うことができ、併せて逆転選挙区の解消、一票の格差の大幅縮減を果たすことができましたので、県民の皆さんには一定の評価をいただけるものと思います。



### 議員提案条例

#### 県民みんなで観光立県

この条例は、観光立県の実現のため、県民総参加で観光振興に取り組むためのよりどころとなるものです。

専門家から  
一言  
**「まちづくり」  
観光振興は**

近藤 政幸

わかやま産業振興財團  
観光産業プロジェクト  
マネージャー

すばらしい自然にふれたり、美しい景観を見たり、楽しい体験をしたときは、もちろんですが、旅先で地域の人々の温かな心遣いにふれたときもそうではないでしょうか。例えば、親切に道を教えてもらったり、地域の歴史や文化について話を聞かせたり、心のこもったサービスを受けたときは、それがたとえ小さな出来事であっても「また来たいな。」という思いにつながります。和歌山県のすばらしい魅力を県民の皆さん「心のこもつたおもてなし」を通じて観光客の皆さんに味わっていただくこと、それが観光振興の一番の处方箋だと思います。

いつからスタートしますか？

4月1日施行です。この条例の趣旨をご理解願い、県民の皆さんと一緒に観光振興に取り組み、国内外から多くの人々をお迎えすることで、観光立県による活力ある元気な和歌山を実現したいと思います。

観光振興は「地域経済の活性化」と「地域コミュニティの再構築」につながります。地域住民が力を合わせて、地域の魅力を発掘し、磨き、観光資源として売り出す。これによって観光客が増え、地域経済が活性化するとともに、地域住民が力を合わせることで地域コミュニティを元気にします。

この条例を契機に地域における自主的な取組が活発化することを期待しています。

# 『和歌山県観光立県推進条例』制定

※条例の詳細については  
県議会ホームページをご覧ください。

## 知事説明要旨

本県を取り巻く状況を踏まえ来年度予算では、行財政改革を着実に進めつつ、「元気な和歌山の創造」に向け、県民に「希望」と「安心」をもたらす取組を重点に、元気な地域や産業づくりにつながる施策をはじめ、学校の教育力の強化や地域資源を活かした先導的な施策を積極的に進めます。

また、福祉・医療体制の充実や災害から命を守る取組など、県民生活の「安全安心」を守る取組もさらに強化します。



# 12月定例会概要

## 一般質問議員(15人)

12月8日(火)	12月9日(水)	12月10日(木)	12月11日(金)
前芝 雅嗣	向井嘉久藏	長坂 隆司	泉 正徳
山下 大輔	雜賀 光夫	花田 健吉	藤井健太郎
山下 直也	山本 茂博	奥村 規子	井出 益弘
角田 秀樹	片桐 章浩	服部 一	

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は下記のとあります。(要約抜粋)

## 関西3空港懇談会での 県の立場

問 関西国際空港を取り巻く環境はきわめて厳しい。関西・伊丹・神戸の3空港の利用方法を考える関西3空港懇談会において県はどういう立場をとり、どういう主張をするのか。

答 関西国際空港のハブ＆スポーツ機能の強化を図り、関空の国際ハブ空港化にとってプラスとなるような形での一元管理を図っていくべきであるという立場を盛り立てる。関空活性化に力を合わせると主張する。

問 中小零細事業者への対応

答 県内ほとんどの産業で中小零細になるほど売り上げの大幅減が見られる。県は保証協会や金融機関に特段の配慮を求める要請を行つたと聞いているが、事業者にとつて万全のものとなるよう層の努力をしてもらいたい。

## 和歌山市駅の バリアフリー化

問 南海和歌山市駅は和歌山市の玄関口であり、観光客や障害のある方々の観点に立ち、一日も早いバリアフリー化を望むのであるが、どうか。

答 現在、南海和歌山市駅には工事用のエスカレーターが設置されているものの一部で駅員の介助が必要なため、南海電鉄に早期整備を働きかけてきた。その結果、今年度中に駅の改良計画を策定し、その後、改良工事とあわせてバリアフリー化を実施する予定と聞いている。今後ともその着実な実施を働きかける。

問 内航フェリー利用促進事業を続けることである。どのような経緯から期間延長をするのか。

答 南海フェリーの和歌山・徳島航路が、高速道路料金の大幅値下げに伴い、利用客が減少し、航路の存続が危惧される事態となつたため、国への支援要請を行いつつ、緊急避難的に徳島県と共同で高速道路料金が1000円となる土日祝日に実施しているが、平成21年7月18日から11月30日までの乗用車の利用が前年比15.2%に続ける見通しであるので、現在行つている実験を3月末まで延長して航路の維持を図りたい。

## 観光立県推進条例と 観光振興への決意

問 条例ができても、実行に移すには地域の魅力を引き出す企画や組織・体制づくり等の仕組みが大事である。特に中心となる県庁の体制づくりをきつちりと発信することで「県民総参加」の熱意があると考えるが、観光振興にかける決意はどうか。

答 観光振興は本県の経済発展や地域振興の重要施策と位置づけ、様々な取組に努めてきた。今議会に議員提案された和歌山県観光立県推進条例は、観光振興にとって非常に心強い応援になると考へている。条例制定を契機に、議会や県民、関係団体と連携し、全庁挙げて観光立県和歌山の実現に努力する。

問 防犯カメラの設置

答 和歌山県の犯罪率は全国でワースト9位との報道があった。また岩出市は、県内で唯一、人口増が続いているからか、犯罪率が県内で一番高くなっている。犯罪撲滅のために防犯カメラの設置が有効であると考えるが、防犯カメラ設置の取組はどうか。

## マグロ資源の活用

問 近年、マグロの水揚げが減少しているが、近畿大学水産研究所が完全養殖に成功し、先進的な研究を行っている。このマグロ資源の活用をどのように進めていくのか。

答 平成21年5月、和歌山県マグロ推進協議会を設立し、県産マグロのPR、養殖技術の開発等の検討に着手している。また、天然マグロについては、「紀州勝浦産生マグロ」のブランド化の強化を図るため東京築地市場で試食会を開催するなど、新たな取組も始めおり、今後とも積極的なPR活動を行う。

問 プロスポーツチームのキャンプ誘致

答 スポーツ合宿はリピート性が高く長期滞在につながるなど、和歌山市柳通りに6台設置したが、市町村や関係団体にも設置を要望し、その拡充に努めている。岩出市では、国の補正予算によるモデル事業として、防犯ボランティアの子供見守り活動を支援するため通学路に25台設置する事業を進めしており、来春からの運用を予定している。

## 議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果
予算案件(知事提出)	7件	平成21年度和歌山県一般会計補正予算 等	可 決
決算案件(〃)	2件	平成20年度和歌山県歳入歳出決算の認定について 等	認 定
条例案件(議員提出)	2件	和歌山県観光立県推進条例 和歌山県議會議員の定数及び各選挙区において選挙すべき議員の数を定める条例の一部を改正する条例	可 決 〃
条例案件(知事提出)	12件	知事及び副知事の給与その他の給付条例の一部を改正する条例 等	〃
その他案件(〃)	7件	平成21年度建設事業施行に伴う市町村負担金について 等	〃
人事案件(〃)	1件	和歌山県監査委員の選任につき同意を求めるについて	同 意
請 願	2件	教育改革についての請願 食料自給率の向上と国内農林漁業の振興をはかるための施策を求める請願書	継続審査 不採択
意見書	31件	関西国際空港に係る平成22年度補給金の凍結解除を求める意見書 「環境税」の創設に関する意見書 全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力調査の継続とさらなる充実を求める意見書 国として地方の声を直接聞く仕組みを保障することを求める意見書 「地域科学技術振興・産学官連携」の継続を求める意見書 農林水産業に係る平成22年度予算編成に関する意見書 地方の道路整備の促進と予算確保を求める意見書 河川整備の促進を求める意見書 下水道事業、農業集落排水事業の継続的な実施と予算確保を求める意見書 海岸整備の着実な促進と予算確保を求める意見書 地方の港湾整備の促進と予算確保を求める意見書 スポーツ予算の確保を求める意見書 高等学校の実質無償化に関する意見書 「子ども手当」創設に関する意見書 地方分権のさらなる推進と地方財政の立て直しを求める意見書 電源立地地域対策交付金制度の見直しに対する意見書 「戸別所得補償制度」の創設に関する意見書 高速道路の無料化に関する意見書 後期高齢者医療制度の速やかな廃止を求める意見書 他12件	可 決 〃 否 決

## 会期中の主な動き

- 予算特別委員会委員の選任  
角田秀樹委員 (11/27)
- 給与関係条例の改正に伴う  
常任委員会の開催  
●総務委員会、経済警察委員会、文教委員会 (11/27)
- 特別委員会の開催  
●議員定数等検討特別委員会 (11/27、12/9)  
●行政改革・基本計画等に関する特別委員会 (12/10)

## 12月定例会 会期日程 (会期21日間)

11月	27日(金) 30日(月)	本会議・常任委員会 本会議
12月	1日(火) 2日(水) 3日(木) 4日(金) 7日(月) 8日(火) 9日(水) 10日(木) 11日(金)	議案調査
	14日(月) 15日(火) 16日(水) 17日(木)	本会議 (一般質問)
		常任委員会
		本会議

## サイクリングロードの整備

問 県サイクリング協会ではサイクリングマップの作成を考えているが、県においても、国をはじめ関係市町とともに紀の川沿線のサイクリングロードの整備に取り組んではどうか。

答 紀の川沿線のサイクリングロードの整備については内部で検討しており、既に使用できるところが多く存在するところに既存道路の整備を要するところもあることがわかった。今後、ご指摘の議論をもとに、一層検討に拍車をかけていく。

## 海南地区の津波浸水対策

問 政権交代が行われて公共事業が見直されているが、見直しの必要なものと絶対に守らねばならないものがある。東南海・南海地震の発生可能性が高い本県では、和歌山下津港海南地区の津波防波堤事業はどんなことがあつても守り抜かなくてはならない。その認識と決意はどうか。

答 和歌山下津港海南地区の津波防波堤事業はどんなことがあつても守り抜かなくてはならない。その認識と決意はどうか。



答 海南地区は、公共機関や主要産業が集積しており、津波による被害は大きく、復興の長期化による県経済への影響が大きい地域である。津波浸水対策は重要な事業であり、今後とも予定どおり進むよう国に強く働きかける。

## 第一阪和国道と京奈和自動車道の予算確保

問 この2路線は県経済の発展、県都和歌山市経済の浮揚にとっても悲願の道である。来年度予算の概算要求では公共事業予算が大幅カットされているが、国の予算要求の現状はどうか。

答 予算要求の現状はどうか。

答 第二阪和国道の府県境部の和歌山岬道路は、現在、地元設計協議等を進めており、また、京奈和自動車道は、平成21年6月に紀北西道路の工事着手がなされるなど全線で事業推進を図っている。今後、大阪府や奈良県、京都府との連携はもちろん、近畿地方整備局から示された概算要求額では両事業とも県の想定を下回り、非常に厳しい予算となっている。今後、大阪府や奈良県今まで以上に危機感を持つて必要な予算の確保を国に働きかける。

## 学力テストの継続実施

問 来年度より、小学校6年生と中学校3年生を対象にした全国学力・学習状況調査を全員参加方式から抽出方式に変更すると聞くが、県は独自で今後も継続してはどうか。

答 県では平成15年度より県学力診断テストを実施してきたが、平成21年度から2年間休止し、これまでの分析結果等を活用して指導の工夫改善に関する施策を実施しているところである。今後も学力の地域間格差をなくし、児童生徒一人ひとりの学習状況の改善を図るために、これまでのような調査の継続が必要であると考え、国を望していく。

## 国道371号橋本バイパスの整備

問 民主党政権による事業仕分けで大幅な道路予算の減額が予想されるが、国道371号橋本バイパスについてはどうなるのか。

答 今年度は16億円の予算で橋梁工事や用地取得を行っているが、来年度以降もまだ事業を進めていかねばならない状況である。新紀見トンネル(仮称)を含む府県間部分は今年度から国が調査に着手しており、調査の進行を働きかける。



## 高校生の就職内定状況

問 失業率、有効求人倍率は史上最悪となり、高校生の就職も厳しくなっているが、新規卒業予定の高校生の就職内定状況と対策はどうか。

答 雇用状況の悪化に伴い、昨年に比べ本年の就職状況はきわめて厳しく、県教育委員会では、和歌山労働局及び県労働関係部局等と連携し、様々な対策を講じているところである。就職を支援する人の配置についても前向きに検討し、今後とも生徒の希望がかなうよう各学校とともに全力を挙げていく。

- 有効求人倍率
- 公共職業安定所に登録している求職者数に対する企業からの求人数の割合で、労働力需給状況をあらわす。

県議会を

# 見る聞く

TV

## テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

### テレビ テレビ和歌山

**県議会だより** 開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送(2月定例会放送予定 2/23、3/4～5、8～12、18)

**県議会手話だより** 閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送

**委員会活動リポート** 委員会の役割や活動内容を紹介(2/19の19時30分から30分間放送。再放送は2/20の22時から)

### ラジオ 和歌山放送

**県議会ダイジェスト** 開会、質問、閉会日の22時から15～30分間放送(2月定例会放送予定 2/23、3/4～5、8～12、18)

## 県議会ホームページ

和歌山県議会

検索

和歌山県議会 <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

- 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。
- 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。



## 傍聴してみませんか

- 本議会は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。
- 県議会は、年4回(2月、6月、9月、12月)開催される「定例会」のほか、必要に応じて開催される「臨時会」があります。

### 平成22年2月定例会 会期日程(予定)

本会議	2月23日(火)
本会議・常任委員会	2月25日(木)
本会議(質問)	3月 4日(木)～5日(金) 3月 8日(月)～10日(水)
予算特別委員会	3月11日(木)～12日(金)・17日(水)
常任委員会	3月15日(月)～16日(火)
本会議	3月17日(水)～18日(木)

※この日程は予定ですので、変更されることがあります。

傍聴を希望される方は、開催日時等をお確かめください。

## 「点字版・テープ版」のご案内

本紙の点字版、テープ版(ボランティアの方々による朗読)を作成しています。詳しくは県議会事務局議事課まで

## 虚礼廃止にご理解・ご協力を!

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っています。県民の皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

**編集後記** 12月定例会では、過去最多となる18件の意見書が可決され、また観光立県推進条例の制定や議員定数を削減するなど、いつもにも増して中身の濃い充実した定例会となりました。

こうした熱い議会の動きを県民の皆さんにこれからもわかりやすくお伝えしてまいりますので、本年もご愛読よろしくお願ひいたします。

## 和歌山県議会へのお問い合わせは県議会事務局各課まで

**総務課** 議会庶務、情報公開など ☎ 073-441-3560 Fax 073-441-3559

**議事課** 傍聴、請願、陳情の受付など ☎ 073-441-3570 Fax 073-441-3575

**調査課** 調査業務、議員提案条例など ☎ 073-441-3580 Fax 073-441-3581

発行日／平成22年2月7日

編集・発行／和歌山県議会 ☎ 073-441-3570

〒640-8585(県庁専用郵便番号)

和歌山市小松原通1-1



## 創立55周年 (11月6日～12日)

(11月22日～25日)

## 中国山東省友好提携25周年 (11月22日～25日)



富安議長をはじめ議員5名が仁坂知事とともに、在ブラジル和歌山県人会連合会創立55周年記念式典に出席、また在ペルー和歌山県人会を訪問し、故郷を離れて活躍されている方々やそのご家族と交流を深めました。

和歌山県と山東省友好提携25周年を記念して、富安議長をはじめ議員14名が副知事や県内企業関係者とともに山東省を訪問しました。

一行は、濟南市で山東省人民代表大会(議会)の高橋新亭常務委員会副主任ら関係者と会談するとともに姜大明山東省長とも会談し、観光や環境など実務的な交流を一層進めることで合意しました。また青島市では、中国市場進出促進のため、家具・化学・精密板金プレス業等県内企業14社と現地企業との商談会が開催されました。



## 常任委員会の県内調査報告

### 総務

昨年10月14日に公立大学法人和歌山県立医科大学において、災害拠点病院としての医大病院の役割やドクターヘリについて調査を行いました。災害時を想定した訓練や設備の状況、ヘリの出動、運航状況等について説明を受け、今後も他の医療機関や行政と連携した教育・訓練を行いうよう要望しました。

### 福祉環境

昨年10月14日に社会福祉法人紀之川寮を訪問し、同法人が運営する救護施設(悠久の郷)と知的障害者更生施設(悠久の杜)の現状について調査を行いました。今後の障害者施策の課題や行政に対する要望事項について意見交換をしました。

### 経済警察

昨年12月14日に県警本部において、新通信指令システムを調査しました。通報のあった携帯電話の位置を瞬時に地図上に表示したり、現場の写真をパトカーから指令室や管轄署に送信できる機能など、県民生活の安全・安心確保に大きな威力を発揮していることを確認しました。

### 農林水産

1月13日～15日に農林水産部の試験・研究機関8カ所における試験研究の取組や成果について、調査を行いました。また、産地の課題解決に向けた取組などについて意見交換を行い、試験研究の一層の充実・強化を求めました。

### 建設

1月14日～15日に近畿自動車道紀勢線などの道路整備事業、切目川ダムなどの河川関連整備事業、会津川災害地復旧事業の現状等を把握するため現地調査を行いました。全国に比べて整備が遅れている高速道路の4車線化や延伸について、なお一層の働きかけを行います。

### 文教

昨年10月14日に粉河高校において、同校・和歌山大学・地域が連携した学びの場「KOKÔ塾」の取組状況について調査を行いました。オープンカフェの開催、福祉マップの作成、粉河寺プロモーションビデオの制作等、画期的な活動を行っており、今後より一層の取組が期待されます。



江上柳助 議員(和歌山市選出3期 公明党県議団59歳)が、平成21年11月8日逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。